

会派「あしや しみんのこえ」

芦屋市議会議員

はせ基弘の

市政レポート

Vol.23

JR 芦屋駅問題編



**JR 芦屋駅南再開発事業が暗礁に！ 予算がなければ中止になる。
街に魅力がないと他市に遅れを取り衰退するだけだ！**

**7年間の事業計画がとん挫すると多額の損害賠償の可能性が大きい！
既に約27億円の投資！賑わいのある街づくりもダメなのか？**

**ここまで来て事業を中止する動きを見せる芦屋市議会！ 代替案あるのか？？
総事業費が258億円？などと誇張するが、芦屋市の負担額は120億円！**

これまで積極的に事業支援してきた他の議員たちが事業費の高騰を理由に反対した。しかも国からの補助金や地権者の補償査定などの事業に必要な経費もすべてカットし、反対する議員は「我々は事業には反対していない」という矛盾だらけです。既に今年度決算では27億円の投資をしています。地権者の方々の補償もできない状態になった。

**事業は数多くのメリット！ターゲットは次世代
都市経営のメリットが多数存在しています。**

貴重な財源確保策にもなります。・・・行政が言えないことですが・・・

多くのメリットも含んでいます。単なる事業でなく芦屋の未来に繋がります。

- 資産価値の上昇のため固定資産税などの増加が見込まれます。(年間約7,000万円以上)
- 近隣の資産価値も上がります。(既に船戸町の路線価上昇)
- 若い世代の期待する街になれば人口増加につながります。
- ユニバーサルデザインの駅前としてバリアフリー化率100%が達成できます。
- 高額なマンションを購入して居住される方が納める市民税にも期待できます。
- 賑わいのショッピングはラポルテにも波及する可能性。
- 芦屋ブランドの再構築から市全体のグレードアップになる。
- JR以南地域の街の活性化につながります。(バス路線の時間短縮など)
- 小さな街だからできるコンパクトシティの魅力の創出が可能です。

J R 芦屋駅南再開発事業が暗礁に 事業中止の最悪の危機！！

事業効果は、芦屋市の未来への投資です。あのままの駅前の状態でもいいのでしょうか？
「よくない！」「ダメ！NO！」という声が圧倒的でしょう。

本年3月の芦屋市議会において、新年度予算のうちJ R 芦屋駅南再開発関連予算及び
J R 芦屋駅南特別会計予算が否決されました。現在は暫定予算でギリギリの運営を行っています。
反対する議員たちは関連事業費が増大することなどを理由に挙げています。
また芦屋市の財政が破綻し、北海道の夕張市のようにになるとも主張しています。
たしかに、用地費・建築資材費・人件費等が当初見込みより増大し、
今後の社会情勢にも影響されることは考慮しなければなりません。
この事業で年間約7,000万円の固定資産税などの税収が見込まれることも明らかになりました。
また、財政破綻する理由の基金（預金）は将来予想であって、
このような財政状況にならないようにしよう！とする指針でしかありません。
この事業は芦屋市にとって昭和21年（都市計画決定）からの長年の懸案でした。
平成29年、当時の山中前市長時代によりややく事業が開始されました。
市議会でも合意形成がなされ、その後、現在の伊藤市長に引き継がれたものです。
昨年度は実際の工事も開始され、約20億円の市費が投じられました。
中止の経費は未知数！ 莫大な費用が発生することに触れない議員が多いのです。

国の補助金である今年度分の12億円が申請できない状態です。
このままでは、J R 芦屋駅南地区の再開発事業ができなくなります。
いざ、いつか事業をやろうとするにも国や県補助金はもらえないのは必然です。

！ J R 西日本への補償金が発生か？ ！

駅舎改築を伴うJ R 西日本との協定が反故にされることで、
解約の問題も起こることが予測され、協力いただいた地権者の方々を含め、
損害賠償問題の発生や新快速が芦屋ではなく他市（西宮）へ停車するという可能性なども懸念されます。

芦屋市の現計画予想図



左の未来予想図は
芦屋市の狭い土地を
有効に利用することに着目すると
バラバラに点在する施設はショップを線で結び、
回遊性が高い地域として面整備をすることです。
幸いに、J R 芦屋南地区は
素敵なショップや公園、文化財などがあります。
そして阪神芦屋・打出駅まで延長することで
街に活性化と賑わいを作り出す。
これをイメージしたものです。

JR芦屋駅南からの未来予想図



Point

モンテメールのリニューアルは若い世代へシフトチェンジしました。

若い世代が住みたい街「あしや」
次世代はどんな街づくりを望んでいるのでしょうか？

Keyword

「賑わいと活気のある街」

JR芦屋駅南は南地域からのバスの乗り入れ **利便性**
利便性の高い交通広場、子育てや若い世代が望む施設を **公共性**

回遊性

点在する芦屋市の魅力を
点（その場所）として見ないで、
地域全体を面として考えると・・・

景観
環境



国登録有形文化財になった
「旧宮塚町住宅」や茶屋之町
「さくら通り」の綺麗な街並みや
おしゃれなお店が点在しています。

「宮塚公園」「大槻公園」もイベントが出来る素敵な公園

阪神芦屋駅や打出駅のエリアへの
賑わいの創出も可能なのです。
芦屋スランドを活かす！

JR芦屋南地域から阪神芦屋へ！阪神打出へ！
芦屋の未来のために絶対に必要なのが
JR芦屋駅南の再開発事業です。

JRから
阪神へ

にぎわいと
活力



みなさん 一緒に
未来の芦屋を考え
作り上げていきましょう

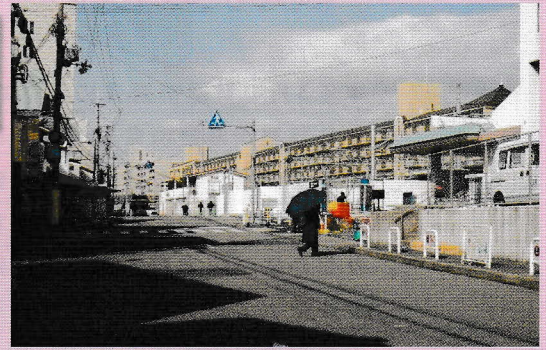


茶屋之町
さくら通り 裏面へ

過去に震災復興計画で1119億円の借金！ 588億円も返済した！

潮芦屋の総合公園の96億円も間もなく完済します。

平成7年7月に「芦屋市震災復興計画」を策定し、復興事業で年間予算の約4.3倍もの事業を実施しました。震災関連事業のために借金（地方債）残高は約1,119億円に膨れ上がりました。しかし、令和元年度には531億円に減りました。芦屋市はこれ以外に総合公園も96億円の借金、令和5年にすべて完済する予定です。年間に5億円を返済していたのです。



【芦屋の玄関口が未整備になる？】

新快速も芦屋駅には停車しなくなると言われる？

事業を中止したら、どこからも信頼されない芦屋市に！責任は議会にあり！

- JR西日本は議会の承認を得た「基本合意書」や「工事協定書」を盾に確実に費用負担を求めてくる。(JR西日本は芦屋駅南を開発する条件で駅舎改築を行っている)
- 国からの12億円補助金(今期分)で事業を行う予定でしたが、中断すれば二度と補助金は受けられず今しかありません。それなのに反対する議員は無責任にも自らの対案を一切提示しません。
- これまで事業にご協力いただいた地権者のみなさんや地域のみなさんとの信頼関係が崩壊する。(補償費や補償査定経費もカットしては何もやれない)
- 国や県からの信用失墜は他の公共事業に対する補助金などに影響する可能性があり、市民サービス全体に影響が及ぶことが危惧される。
- 芦屋市は信頼できないと市民の期待を裏切った代償は計り知れないものになる。

削減するところは知恵を集めてやろう・・・芦屋市の負担は120億円です。

総事業費約188億円のうちの芦屋市負担が33億円増えて約120億円になりました。この理由は、土地価格の上昇分と建設工事費資材の高騰や働き方改革で週休日の完全実施のための人件費などによるものです。華美な建設をしようとか不要なものを作ることはありません。さらにこの費用は長期にわたり無理がないように返済します。一部議員の総事業費258億円ではありません。

会派「あしやしみんのこえ」が目指すものとは

市民の目線で発言し、市民の声に耳を傾けることがこの会派のモットーです。

幹事長 長谷基弘(民生文教)、副幹事長 たかおか知子(建設公営)、会計 中村亮介(総務)

芦屋市議会議員 はせ基弘 公式ホームページ・ブログ

芦屋 はせ

検索

公式ホームページ QRコード

Ameba ブログ QRコード

ホームページアドレス

<http://www.hase-motohiro.jp>

政策、提言、活動などについて詳しくご紹介しています。是非ご覧ください。



発行

会派「あしやしみんのこえ」

所在地

〒659-8501 芦屋市精道町 7-6

TEL

0797-38-2001(内線 5151)

責任者

芦屋市議会
長谷基弘

